

## リンダさん、尾道の金森さんご夫妻の被災地訪問(2015.12.5)

女川町は、大震災津波で甚大な被害があったところです。リンダさんは2011年7月、仮設避難所でテントを張り、被災者と共に一夜を過ごされた。また、2013年に女川漁業組合や銀ザケ養殖地を訪れ、復興の様子を撮影されました。女川町はカナダ・ネルソン市とは毎年交流行事を行う友好関係にあり、津波被災では多くの援助を受けました。更に、リンダさんは女川漁港・魚市場で使われるコンテナを、アラスカ漁協から寄付を受けられるよう支援を行いました。



女川港：津波瓦礫は除かれ、嵩上げ工事が進行



高台の町立病院から見ると、工事車が行き交う様子が分る



駅・役場・小学校方面：12/23に「まちなか交流館」オープン



女川漁港復興工事の様子：寄付のコンテナが見える



町立病院の高台に建つ津波到達位置を示すモニュメント



大戦での、母国カナダ空軍の最後の犠牲者の慰霊碑

## 被災者宅の訪問

大震災から4年9か月経ち、女川、雄勝・名振で交流のあった二つの家族と、悲惨な災害となった大川小学校を訪れました。被災者が希望した住宅に住むことが出来たのはごく少数で、車からの景色もほとんどが嵩上げ工事と宅地等の造成を行っているところです。



女川復興住宅：抽選で被災者のごく一部の家族が入居



女川町被災住宅を訪ねて、昼食をご馳走になる。



雄勝・名振地区の高台に移転した住宅地



名振で自宅を再建し、イワシ漁を続けるお宅を訪問する



名振港：風光明媚な三陸復興国立公園の地にある



大川小で：金森さんご夫妻は各所で線香を上られた